

工事設計概要書

○以下工事を行うために実施設計を行う。

1.目的

平成10年に竣工し平成30年に使用目的の変更に伴い、内装改修及び電灯をLDE化へ更新し、平成31年4月に総合教育センターとして開所した。

施設について一部改修を行っているが、外部、空調機については未改修であり、竣工以来22年が経過している。これまでも空調機器の維持管理は行ってきたが、使用や時間的経過による劣化・損耗などが顕著となっており、機器による相違はあるものの、故障及び修繕回数も多く、対応部品の供給も難しくなっている。

また、外部についても経年劣化が進んでおり、今後も使用していく施設であることから、調査、改修が必要となる。

このことから、施設機能を保つため、空調機器の更新及び長寿命化対策を行う。

2.施設概要

名 称	： 総合教育センター
建 築 年 度	： 平成10年度
構 造	： RC造 2階建て
延 べ 面 積	： 801 m ²

3.設計内容

□建築

- ・屋根改修 屋根調査、工法提案選定、バルコニー等含む
- ・外壁改修 外壁タイル部及び塗装部調査、工法提案選定
- ・防水改修 打継目地、サッシ周りのシーリング改修、工法提案選定
- ・塗装改修 鋼製設備機器、配管等の塗装
- ・建具改修 劣化建具の調査、工法提案選定

□設備

- ・空調設備の容量及び熱源検討

※上記、内容の与条件

○空調設備設置設計

①仮設計画

②電気設備工事(EHPの場合、受電設備及び幹線設備改修も含む)

③ガス設備工事(GHPの場合)

④配管、基礎及びフェンス工事

⑤イニシャルコスト(ガス引込等)、受変電設備更新等及びランニングコスト等総合的に比較検討すること、また室内条件の変化に伴う負荷計算を行う。

上記施設の既設設備機器等の仕様、能力及び諸条件の調査

4.その他

○調査を基に既設の状況を把握したうえで設計を行い、施工時に支障のないようにすること。

○総合教育センターの意見を十分反映した設備の設置を行う。

○ライフサイクルコストを意識した機種選定を行うこと。

○設備機器等の仕様は、安全性、使いやすさ及び環境(特に塩害対策)に配慮すること。

○工事発注年度による単価入替等の業務を見据え見積もり徴収を行うこと。

○志摩市様式により施設健全度調査を行うこと。

※その他、詳細は打合せにより監督職員との協議による。